

～講演会のご案内～

大阪公立大学の林晃敏先生による講演会を企画致しました。林教授は、イオン導電性を持つ無機固体材料の研究において、多くの顕著な業績を上げられています。特にガラスやガラスセラミックス材料で優れたイオン導電性を示す物質を数多く見出されています。今回は、イオン導電性を有するガラス材料と全固体電池への応用に関する最新の研究についてご講演いただきます。多数のご参加をお待ちしております。

演題：無機ガラス材料を用いた全固体電池の研究開発

講師：林 晃敏 教授（大阪公立大学大学院工学研究科）

日時：2022年10月26日（水）16:30～

場所：北海道大学理学部 7号館 7-310 講義室



主催：北海道大学総合化学院

共催：フロンティア化学教育研究センター

物質科学フロンティアを開拓する Ambitious リーダープログラム,
スマート物質科学を拓くアンビシャスプログラム

要旨

無機固体電解質を用いる全固体電池は、安全性と高エネルギー密度を兼ね備えた次世代蓄電池として実用化に向けた研究開発が活発化している。全固体電池を実現するためには、優れた固体電解質材料の開発と電極/電解質固体界面の形成が重要となる。本講演では、無機固体電解質の中でもガラス材料に着目し、全固体電池への応用に適したイオン伝導性と機械的特性を併せ持つ硫化物や酸化物電解質の開発とそれらを用いた全固体電池の研究の進展について紹介する。

連絡先：北海道大学大学院理学研究院化学部門 無機化学研究室
松井雅樹（011-706-2702）